



河崎小学校は今年度、創立120周年を迎えます

校長 有本 勝彦

河崎小学校は今年度創立120周年の年にあたります。記念すべき年であることを、全校児童にもお知らせするために、4月の全校朝会でお話ししました。以下、一部抜粋の内容です。

河崎小学校の創立は、明治35年です。明治35年が、今から120年前です。120年前というと、みなさんのおじいちゃんやおばあちゃんの、そのまたおじいさんやおばあさんが生きていたくらいの年です。明治35年に河崎小学校ができたばかりの時は、もちろん今の校舎ではなくて、別の場所に、別の校舎が建っていました。

最初の学校は、村立久知尋常小学校と言って、吾潟に分教場と、城腰、河崎にそれぞれ仮の教場を置いていたそうです。今の場所に校舎をはじめて建てたのが、7年後の明治42年だそうです。以来、増築や改築を行って、この河崎小学校の今使っている校舎と体育館ができたのは、今から、40年くらい前だそうです。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(中略)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学区民の学校教育に対する関心は高く、協力を惜しまず学校を大切にしてください。開校当時の校訓「至誠」「勤労」「協同」「発展」は連綿と引き継がれています。特に「誠」は、現在の校章(昭和四七年度新校旗樹立)にも上部中央にしっかりと記されています。

至誠というのは、素直で誠実であること、勤労は、勤勉で、何事にも一生懸命に取り組むこと、協同は、みんなと仲良く協力すること、発展は、今よりもっとよくなるようにがんばることです。ずっと昔から、これらのことを大切にしてきた学校です。これだけ長い歴史のある学校です。卒業した人や、そのお家の人、この学校で先生をしていた人、地域の人たちも、たくさんの思い出があります。今ここで学んでいる皆さんへの期待も大きいと思います。

今、ここで学んでいるみなさんは、この河崎小学校で学べることを誇りにして、ぜひ、一生懸命にいろいろなことに挑戦して、自分の力を伸ばしてください。

120周年の節目に、子どもたちにこれまでの歴史の重みを感じられるような一年にしたいと思います。そして、長きに渡り河崎地区の人材を輩出してきた河崎小学校です。社会は目まぐるしく移り変わっていきませんが、その担い手であるのはその社会を構成する人材に他なりません。未来の河崎地区を背負って立つ人材を、今この学び舎で育てているという職務への誇りと責任の重さをかみしめて、引き続き教育活動に励んでまいります。